

第 38 回会長の時間 ロータリー財団地区補助金につきまして

平成 29 年 5 月 18 日

5 月 14 日に、防府ロータリークラブ創立 60 周年記念式典に出席してきました。会場はアパホテル山口防府で、田原ガバナー夫妻や南園パストガバナーを初めとする 10 名のパストガバナーや松浦防府市長や関係団体の方々など 57 名の来賓と、58 名の防府 RC の会員で盛大に開催されました。懇親会のオープニングでは、防府フィルハーモニーから 4 名が来られて演奏され和やかに祝宴が始まりました。さてこの度、来年度の地区補助金申請が地区から承認されましたが、その対象団体の NPO 法人ふらっとコミュニティひだまりから山根俊恵理事長をお迎え致しました。ロータリー財団が提供する補助金につきましては、地区補助金、パッケージ・グラント、グローバル補助金の 3 種類を提供していますが、本日は、地区補助金についてお話ししたいと思います。地区補助金は、地元や海外の地域社会のニーズに取り組むための、比較的規模の小さい、短期的な活動を支援します。各地区は、この補助金を配分するプロジェクトを独自に選ぶことができます。

まず人道的プロジェクトとしましては、奉仕活動を行うための現地への渡航費用や災害復興活動費用など、奨学金としましては、教育機関のレベルや場所、支給期間、専攻分野の制約なく受けられます。また、前回お話ししました、青少年プログラムであります、ロータリー青少年交換、RYLA、ローターアクト、インターアクトの事業にも申請できます。さらに専門職業をもつ人びとから成る職業研修チームの派遣費用や現地の人びとに職業研修を行ったり、逆に学んだりするチームの費用にも利用できます。このように、地区補助金はさまざまな奉仕プロジェクトに柔軟に活用できます。

支給額と支給方法に関しましては、地区は DDF すなわち地区財団活動資金の 50%までを地区補助金として毎年申請できます。この 50%は、3 年前に地区が年次基金に寄付した額と恒久基金への寄付の投資収益額によって生まれた DDF を基に計算されます。

地区に一括して補助金が支払われた後、地区がクラブに資金を支給します。わが宇部 RC も、ロータリー財団の委員長や理事が中心となって、地区へ申請を毎年行っておりますが、最近是好成績で、5 年連続して申請が承認されております。振り返りますと 2013 年（平成 25 年）には、障害者や独居老人の食育を通じた自立支援や生活訓練支援の目的で、宇部市総合福祉会館に電子レンジ 2 台を寄贈しました。2014 年（平成 26 年）には、山口宇部医療センターの重症心身障害児病棟に小型の回診車 3 台とホワイトボード 2 台を寄贈しています。

2015年（平成27年）は、特定非営利活動法人「ぐうですぐう」に農機具保管物置を寄贈しました。そして、私の年度の2016年（平成28年）は、ロータリー財団100周年事業として、地区補助金を活用し、社会福祉法人、特別養護老人ホーム「アスワン山荘」に低床式簡易モジュール型車いす6台を寄贈しました。同法人の麻生理事長から「車いすは必需品です。有効に利用させていただきます」とお礼の言葉を頂きました。そしてこの度、次年度ロータリー財団の清水委員長のご尽力により、今回の卓話者の山根俊恵様が理事長を務められるNPO法人ふらっとコミュニティ ひだまりに障害者自立支援としてのパソコン教室実施のため、ノートパソコンを3台寄贈することが決定した次第です。これからも、いろんなアイデアを出し合って、地域社会のためになるような活動に努めたいと思います。

本日は、ロータリークラブの地区補助金につきましてお話ししました。